

美と祈り  
近現代日本美術に見るキリスト教



山下りん《ウラジミルの聖母》1901 白凜居

ミュージアムコンサート  
～歴史からみる音楽と祈り～

**2026年1月24日（土）14時開演（13時30分開場）**

**岡山県立美術館ホール（定員・先着200名）**

展覧会の観覧券で入場可（半券可）

- ・当日一般 1500円
- ・当日65歳以上 1300円
- ・当日大学生 500円
- ・高校生以下 無料

【プログラム】

- ♪ビーバー 「パッサカリヤ」（ヴァイオリン独奏）
- ♪バッハ 「オーボエ・ダ・モーレ協奏曲」
- ♪バッハ 「主よ、人の望みの喜びよ」（ピアノ独奏）
- ♪ドヴォルザーク 「ソナチネ」（ヴァイオリン、ピアノ）
- ♪野口雨情／中山晋平 「シャボン玉とんだ」
- ♪仲村渠 悠子 「祈り・宮古島古謡“旅栄いぬあやぐ”より」
- ♪ハース 「組曲」（オーボエ、ピアノ）
- ♪ペルト 「鏡の中の鏡」（ヴァイオリン、ピアノ） 他

【出演】

- 仁熊 美鈴 (Misuzu NIGUMA) ヴァイオリン
- 上月 真子 (Masako KOZUKI) オーボエ、オーボエ・ダ・モーレ
- 仲村渠 悠子 (Yuko NAKANDAKARI) ピアノ



## ミュージアムコンサート～歴史から見る祈りと音楽～

人々の生活と祈りは密接に繋がっています。

そして、祈りの場にはいつも音楽がありました。

教会で祈り、神との対話と音楽で讃える。近しい人を思っの祈りと音楽。

そして神の不在。どの時代でも生きている人の数だけ「祈り」がありました。

その時々で、祈りをテーマとした作曲家たちはどのような音楽を作ってきたのでしょうか。今回は、演奏者である私たちが、それぞれに思う「祈りと音楽」を時代ごとに集めてみました。皆様にとっての「祈り」はなんでしょうか。



仁熊美鈴 (Misuzu NIGUMA) 岡山県岡山市出身。

5歳よりヴァイオリンを始める。岡山県立岡山城東高等学校、愛知県立芸術大学を卒業。2013年に渡独。

ケルン音楽大学大学院修士課程、並びにOrchester Zentrum NRWを修了。

ドルトムント管弦楽団プロジェクト研修生、アーヘン交響楽団研修生、ハーゲン管弦楽団第二ヴァイオリン奏者を経て、現在は出身地である岡山を拠点に演奏活動を行う傍ら、後進の指導にあたっている。

岡山フィルハーモニック管弦楽団団員。わたしたちの室内楽メンバー。



上月真子 (Masako KOZUKI) 岡山県倉敷市出身。

愛知県立芸術大学音楽学部管打楽器科を経て渡独。国立デトモルト音楽大学にてディプロム、オーケストラコース、室内楽コース修了。ベルギッシュ交響楽団オーボエ奏者、デトモルト室内オーケストラ

首席オーボエ奏者、デトモルト音楽大学非常勤講師などを経て2019年に帰国。倉敷にアトリエを開き、

オーボエリード製作販売も行っている。備中ダブルリード所属。これまでにオーボエを吉田容子、

有道惇、小畑善昭、ゲルノット・シュマルフス、ヨーゼフ・キシュの各氏に師事。



仲村渠 悠子 (Yuko NAKANDAKARI) 沖縄県出身。

幼少期よりピアノをはじめ、即興演奏を得意とする。桐朋学園女子高等学校音楽部ピアノ科、同大学、同研究科を最高点にて修了。デトモルト音楽大学首席卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。

2009年よりデトモルト音楽大学講師（コレパティータ）として勤務後、2015年沖縄帰国。

2022年よりショパン全曲演奏会をスタートした。現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師。日本歌唱芸術協会事務局長。これまで、日比谷友妃子、高良芳枝、ミハイル・ボスクレセンスキー、ジャン・エッフラム・バブゼ、アナートル・ウゴルスキーの各氏に師事。

### 交通案内 ※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

JR岡山駅後楽園口(東口)から 徒歩 | 15分

路面電車 | 岡山駅前電停1番乗り場 東山行「城下」下車徒歩3分

岡電バス | 1番乗り場 藤原団地行「天神町」下車すぐ

宇野バス | 11番乗り場 四御神、瀬戸駅、片上方面行「表町入口」下車徒歩3分



### 岡山県立美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48

TEL | 086-225-4800 FAX | 086-224-0648

Email | kenbi@pref.okayama.lg.jp

<https://okayama-kenbi.info>

